



2022年11月7日

各位

上場会社名 株式会社T&K TOKA
 代表者 代表取締役社長 増田 至克
 (コード番号 4636 東証プライム)
 問合せ先責任者
 取締役管理統括本部統括副本部長 関根 秀明
 (TEL 03-3963-0511)

2023年3月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月10日に公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の連結業績予想及び、2022年8月24日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の個別業績予想と本日公表の実績値に下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。また、2023年3月期通期の連結及び個別業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想値と実績値との差異について

2023年3月期第2四半期連結累計期間 業績予想数値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,560	350	820	480	21.29
実績値(B)	21,919	323	1,667	1,144	50.77
増減額(B-A)	△640	△26	847	664	
増減率(%)	△2.8	△7.5	103.3	138.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	21,648	314	1,057	1,683	74.71

差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は海外子会社で堅調に推移し、日本国内においては一般UVインキをはじめとする印刷インキが海外市場を中心とした拡販に加え、幅広い製品において諸コスト上昇に対する販売価格への反映を進めたため増収となりましたが、機能性材料において、FPDの供給過剰による生産調整・在庫調整の影響から、カラーフィルター用顔料分散液の出荷が大幅に落ち込み、予想を下回る結果となりました。

利益につきましては、営業利益は幅広い製品で継続的に販売価格の改定に取り組み、また、各地域への拡販を進めましたが、機能性材料の売上減少の影響により、予想を下回る結果となりました。経常利益及び親会社に帰属する四半期純利益は、為替差益の計上により、予想を上回る結果となりました。

2023年3月期第2四半期個別累計期間 業績予想数値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,920	460	1,020	2,140	94.84
実績値(B)	17,032	287	1,900	2,643	117.29
増減額(B-A)	△1,887	△172	880	503	
増減率(%)	△10.0	△37.4	86.3	23.5	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	17,184	411	603	972	43.16

差異の理由

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は一般UVインキをはじめとする印刷インキが海外市場を中心とした拡販に加え、幅広い製品において諸コスト上昇に対する販売価格への反映を進め増収となりましたが、機能性材料において、F P Dの供給過剰による生産調整・在庫調整の影響から、カラーフィルター用顔料分散液の出荷が大幅に落ち込み、予想を下回る結果となりました。

利益につきましては、営業利益は幅広い製品で継続的に販売価格の改定に取り組み、また、各地域への拡販を進めましたが、機能性材料の売上減少の影響により、予想を下回る結果となりました。経常利益及び四半期純利益は、為替差益の計上により、予想を上回る結果となりました。

● 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,470	1,180	2,120	1,390	61.67
今回修正予想(B)	44,600	740	2,480	1,600	71.00
増減額(B-A)	△1,870	△440	360	210	
増減率(%)	△4.0	△37.3	17.0	15.1	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	44,456	228	1,992	2,651	117.64

修正の理由

通期の業績予想につきましては、売上高及び営業利益は、日本国内において機能性材料においてF P Dの供給過剰による生産調整・在庫調整の影響により、カラーフィルター用顔料分散液の出荷が大幅に落ち込むと見込んでおります。また、連結子会社の浙江迪克東華精細化工有限公司において中国における新型コロナウイルス感染症対策等の影響で中国政府当局による生産許認可の取得が当初見込みより遅れたため、売上の本格化が遅延すると見込まれることから、上記予想としております。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当第2四半期連結累計期間において為替差益及び子会社清算益を計上したことから、上記予想としております。

2023年3月期通期個別業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,620	1,210	1,980	2,880	127.63
今回修正予想(B)	34,940	820	2,640	3,250	144.21
増減額(B-A)	△3,680	△390	660	370	
増減率(%)	△9.5	△32.2	33.3	12.8	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	35,267	800	1,607	1,727	76.63

修正の理由

通期の業績予想につきましては、売上高及び営業利益は、機能性材料においてF P Dの供給過剰による生産調整・在庫調整の影響によりカラーフィルター用顔料分散液の出荷が大幅に落ち込むと見込まれることから、上記予想としております。

経常利益及び当期純利益につきましては、当第2四半期累計期間において為替差益を計上したことから、上記予想としております。

※本資料における業績予想については、発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上